

細胞診報告書

病院ID: 001

2021/03/15

AIRDEC

御中

(受付日: 2021/03/08)

患者名: ウスイ ドキソン

様 検査番号: 0003

動物種: 犬

品種: mix

検査組織: 前胸部(胸腔内)

年齢: 8歳 6ヶ月 性別: 去勢♂

採取方法: FNA

診断名 上皮性悪性腫瘍が第一に考えられる

所見

血液成分を背景に上皮性細胞集塊が多数採取されている。これらの上皮性細胞は小～中型で、比較的狭い好塩基性と楕円形核を有する。核形態は比較的斉一でバラつきは少ないが、胸腔内より大型の上皮性細胞集塊が多数採取されること自体異常であり、上皮性悪性腫瘍の可能性が第一に考えられる。細胞由来を同定する形態的特徴に乏しく、細胞診のみで由来を特定することは困難である。

コメント

前胸部腫瘍から採取された上皮性細胞には強い異型を認めませんが、胸腔内から大型の上皮性細胞集塊が採取されること自体異常であり、上皮性悪性腫瘍が第一に考えられます。画像検査により発生部位が肺であれば肺腺癌と考えられますが、肺以外(前縦隔)である場合には異所性甲状腺癌や胸腺癌などが鑑別診断として挙げられます。

写真1

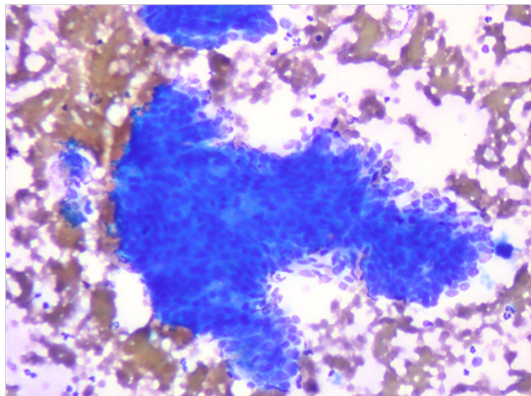


写真2

エアデック mini

診断医 皆上 大吾